

欧州特許庁（EPO）、観測部門の 2026-2027 年作業計画を正式発表

2025 年 10 月 13 日

JETRO デュッセルドルフ事務所

欧州特許庁（EPO）は 2025 年 10 月 7 日、観測部門（Observatory）の 2026～2027 年次作業計画を正式に発表した。本計画は、同年 3 月まで実施されたパブリックコメント募集（[2025 年 3 月 24 日欧州知財ニュース](#)を参照）を経て策定されたものであり、初期案に対して複数のテーマが再編・拡充されている。

作業計画は、以下の 3 つの主要テーマに基づいて構成されている点は初期案と共通している：

- イノベーションのエコシステムへの障壁を取り除く
- 技術とともにより良い未来を形作る（英語は a better future から a bright future に変更）
- イノベーションの担い手を後押しする

しかし、各 Topic の内容には多くの変更が加えられている。具体的には以下の通り。

Topic1：気候変動とエネルギー危機

初期案では「持続可能技術」「モビリティの未来」が含まれていたが、正式計画では「バッテリー循環技術」に絞られた。

Topic2：スタートアップと SMEs

初期案では「特に欧州単一効特許（UP）の役割」のように UP に焦点が当てられていたが、正式計画では「特許や IP（例えば、UP や資金へのアクセス）の役割」を調査することとなり、UP への焦点は軽減した。

Topic3：学術・研究機関

初期案の「欧州の技術移転機関（KTO）とスピントウト」に関する調査は変更なし。

Topic4：イノベーションによる資金調達

初期案では「IP マネジメントと評価機能」、「IP 融資機関のマッピング」が示されていたが、正式計画では後者のみに絞られた。

Topic5：多様性と包摂性

初期案の「STEM 分野で活躍する女性」については変更なし。「欧州の若者におけるイ

「イノベーションスキルの醸成」については、「ポータルサイト構想」は削除され、プロジェクト型・キャンペーン型支援へと記載を変更された。

Topic6：ヘルスケア産業

初期案の「神経変性疾患または心血管疾患」のうち、心血管疾患は削除され、神経変性疾患（アルツハイマー病、パーキンソン病等）に特化した分析が行われる。また、「医薬品アクセス」については変更なしだが、新たに「AIと医薬品」が追加された。

Topic7：標準化と特許

標準化と特許の関係についての新たな洞察を提供するという点について、変更なし。

Topic8：欧州にとって重要な技術

初期案の「技術における AI の普及」は、「AIと医療」「AIとドローン技術」に特化された。また、Topic 1 の「バッテリー循環技術」も含まれる。

Topic9：科学・イノベーションにおけるキャリアパス

初期案の「欧州におけるイノベーションスキルの不足」から、研究者のキャリア軌道（STEM 分野の博士課程修了者などが、卒業後にどのような進路をたどり、どこで研究・発明活動を行っているか）の調査に変更された。

Topic10：欧州単一効特許（UP）

初期案の「利用状況」については変更なし。「技術系スタートアップの特許と市場での成功」については、Topic 2 で述べたようにトーンダウンしており、項目は削除された。

新規追加：知的財産権（IPR）と経済パフォーマンス

初期案には含まれていなかったが、正式計画では新たに「IPR 集約産業の経済的影響」に関する調査が追加された。欧州連合（EU）およびラテンアメリカ地域における IP の活用と経済成長との関連を分析するもので、EPO と EUIPO、CEPAL などとの共同研究が予定されている。

今回の作業計画は、EU の競争力強化戦略（ドラギレポート）との整合性を重視し、特許情報を活用した政策形成支援、技術動向の早期把握、スタートアップ支援、教育・多様性促進など、知財を軸としたイノベーションエコシステムの強化を目的としている。

特に、AI とドローン技術の追加、IP と経済パフォーマンスの新規項目、ツール群の拡充は、知財実務者にとって注目すべき変更点であり、今後の政策形成や企業戦略に影響を与える可能性がある。

－EPO のニュースリリース等は、以下参照－

(EPO のニュースリリース)

<https://www.epo.org/en/news-events/news/epo-observatory-launches-new-work-plan-2026-2027>

(2026-2027 年作業計画)

<https://link.epo.org/web/about-us/observatory-patents-and-technology/en-epo-biennial-work-programme-2026-2027-observatory-patents-technology.pdf>

(以上)